

## 付着モルタル及びスラッジ水に用いる安定剤

# TAクリーン

TAクリーンは JIS A 5308「レディーミクストコンクリート」附属書 JD「付着モルタル及びスラッジ水に用いる安定剤」の品質規定に適合する安定剤です。TAクリーンを使用することで、ドラム内壁、羽根などに付着したフレッシュモルタル、並びに洗浄水から発生するスラッジ水に含まれるセメントの活性状態を安定化し、再利用することが可能です。

### 特長

- フレッシュモルタル、スラッジ水の再利用により、産業廃棄物の減量が図れます。
- 環境汚染防止に貢献します。
- 排水処理作業の合理化ができます。
- スランプの低下が少ないコンクリートを製造できます。
- ドラム内のはつり作業が軽減できます。

### 主成分・物性

| 主成分       | 外観    | 密度        | 塩化物イオン<br>(Cl <sup>-</sup> )量 (%) | 全アルカリ量<br>(%) |
|-----------|-------|-----------|-----------------------------------|---------------|
| オキシカルボン酸塩 | 淡青色液状 | 1.10~1.14 | 0.05                              | 3.5           |

注：塩化物イオン量および全アルカリ量は分析値例です。

### 使用量および使用条件

#### 附属書 JE「安定化スラッジ水の使用法」における添加量

| 予想日平均気温                            | 冬期<br>(15℃未満)            | 標準期<br>(15℃~25℃) | 夏期<br>(25℃を超える)          |
|------------------------------------|--------------------------|------------------|--------------------------|
| スラッジ固形分の量 100kg 当りの<br>安定剤の添加量 (ℓ) | $(0.3\sim 1.0) \times S$ | S                | $(1.0\sim 1.8) \times S$ |

安定剤の添加量 S は、1.0 を標準として、あらかじめコンクリート試験等によってご確認ください。

#### 附属書 JF「トラックアジテータのドラム内に付着したモルタルの使用法」における添加量

| 予想日平均気温                  | 冬期<br>(15℃未満)            | 標準期<br>(15℃~25℃) | 夏期<br>(25℃を超える)          |
|--------------------------|--------------------------|------------------|--------------------------|
| 希釈溶液 50L 当たりの安定剤の添加量 (ℓ) | $(0.5\sim 1.0) \times S$ | S                | $(1.0\sim 1.5) \times S$ |

安定剤の添加量 S は、1.0 を標準として、あらかじめコンクリート試験等によってご確認ください。

## JIS A 5308「レディーミクストコンクリート」

### 附属書 JD 「付着モルタル及びスラッジ水に用いる安定剤」による TA クリーンの試験結果例

|         | モルタルのフロー値比 (%) | モルタルの凝結時間の差 (min) |         | モルタル圧縮強さの比 (%) |         | スラリー状モルタルの流動性 (24 時間後)         | 塩化物イオン (Cl <sup>-</sup> ) 量 (kg/m <sup>3</sup> ) | 全アルカリ量 (kg/m <sup>3</sup> ) |
|---------|----------------|-------------------|---------|----------------|---------|--------------------------------|--|-----------------------------|
|         |                | 始発                | 終結      | 材齢 7 日         | 材齢 28 日 |                                |  |                             |
| 規格値     | 100~110        | -60~+90           | -60~+90 | 90 以上          | 90 以上   | スラリー状モルタルが容易に流動し、部分的な塊が認められない。 | 0.02 以下  | 0.30 以下                     |
| TA クリーン | 101            | +20               | +30     | 100            | 100     | 容易に流動した                        | 0.00   | 0.02                        |

注: 塩化物イオン量および全アルカリ量は附属書 F.6 の計算式を用いて算出

## TA クリーンの使用方法

### 附属書 JF 「トラックアジテータのドラム内に付着したモルタルの使用方法」

- TA クリーンを所定の濃度に希釈してください。
- ドラム内のコンクリートの全量を排出してください。
- コンクリートの練混ぜから3時間以内に TA クリーン希釈溶液を所定量投入して付着モルタルをスラリー化してください。(TA クリーン希釈溶液の投入は、ドラムの内壁、羽根などに噴射して、付着モルタルを洗い落としてください。)
- 高速攪拌を1分間行った後、正転・逆転の繰り返しを1分間に数回(5~6回)行いスラリー状モルタルを十分に攪拌してください。
- スラリー状モルタルを、ドラム内の最前底部に集まる位置で保存してください。また、ホップにカバー等をして雨水の侵入を防ぎ、凍結しないようにしてください。
- スラリー化から24時間以内に、新たなコンクリートを規定量積込んでください。(新たに積込むコンクリートは希釈溶液を練混ぜ水の一部とし、各バッチからその水量を均等に差し引いてください。)
- コンクリートの積み込みは、ドラムを回転させながら行い、積み込み後ドラムを高速回転させ、スラリー状モルタルと新たに積込んだコンクリートを均質に混合してください。

## 使用上の注意事項

- 希釈溶液は予想日平均気温が 25°C 以下の場合は 7 日以内、25°C を超える場合は 5 日以内にご使用ください。
- 凍結した場合には、温めながら静かに攪拌し、完全に溶解してからご使用ください。
- 銘柄や主成分の異なる混和剤の混用および併用は避けてください。

## 取扱い上の注意事項

- 取扱い時には、保護メガネ、保護手袋等、保護具を着用してください。
- 目に入った場合は、清澄な水でよく洗浄した後、ただちに医師の手当てを受けてください。
- 服用は絶対に避け、万一誤飲した場合には胃の内容物を吐かせ、速やかに医師の手当てを受けてください。
- 作業後は、手指や製品に触れた部分を水でよく洗浄してください。
- 詳細な内容が必要な場合は、当社の安全データシート(SDS)をご覧ください。

## 荷姿

- 20Kg 缶

## 竹本油脂株式会社

|        |           |   |                  |                  |
|--------|-----------|---|------------------|------------------|
| 本社・研究所 | 〒443-8611 | 愛知県蒲郡市港町 2-5                            | TEL.0533-68-2118 | FAX.0533-68-1339 |
| 東京営業所  | 〒104-0032 | 東京都中央区八丁堀 3-20-5<br>S-GATE 八丁堀 3F       | TEL.03-3553-6912 | FAX.03-3553-6920 |
| 大阪営業所  | 〒541-0054 | 大阪府大阪市中央区南本町 4-5-20<br>住宅金融支援機構・矢野ビル 9F | TEL.06-6243-3306 | FAX.06-6243-3347 |
| 九州営業所  | 〒812-0013 | 福岡県福岡市博多区博多駅東 2-8-10<br>東福第三ビル 2F       | TEL.092-431-4355 | FAX.092-473-8605 |

- 「TA クリーン」は竹本油脂株式会社の登録商標です。
- このカタログに記載の商品はことわりなく仕様や取り扱いを変更する場合があります。
- ここに記載された事項は、弊社での標準的な試験に基づくデータであり、現場での多岐にわたる条件下での性能を保証するものではありません。